京都文化学研究科京都文化学専攻 カリキュラムツリー

作成日：2024年12月11日修正

DP

DP1:知識・理解
1.世界的視野のもと，京都文化の特色や意義を深く理解するための能力を有していること
2.京都文化の中で専門とする領域について高度な専門的知識を持っていること

DP2:研究技能
1.研究遂行の基礎となる文献・資料を読解する能力があること
2.研究遂行に必要な資料を収集し，調査・分析する能力を持っていること
3.研究成果をまとめ，学界や社会に対して発表することができること

DP3:態度・志向性
1.京都文化について，さらに研究し続ける能力及び意志を持っていること
社会に向けて発信する意欲を持っている
2.研究の成果を，社会のなかで活かす能力及び意志を持っていること

修士課程

養成する人材像

地域や社会で文化振興・観光振興の中心となり得る文化ボランティアとして，文化芸術活動を軸に新しい交流や人々の活躍の場を創出する等，社会貢献活動を行う

学芸員や教員として，研究教育の現場で多様な観点から京都文化の研究を遂行し教育活動に関わり，京都文化の学術的な価値を明らかにする

高度な学術的知見を有する職業人として，官公庁の職員や伝統産業の現場で活躍する

修士論文　・　特定課題研究報告書

2年次

1年次

歴史や文学について，新たな文献学の手法で研究する

- 王朝文学特殊講義A・B
- 近世文学特殊講義A・B
- 古代史特殊講義A・B
- 近世史特殊講義A・B
- 幕末維新史特殊講義A・B
- 近現代史特殊講義A・B
- 歴史地理学特殊講義A・B

文化財や伝統産業に関する実学を深く学ぶ

- 歴史考古学特殊講義A・B
- 美術史特殊講義A・B
- 民俗文化論特殊講義A・B
- 文化財論特殊講義A・B
- 伝統芸能論特殊講義A・B
- 庭園学特殊講義A・B
- 伝統産業論特殊講義A・B

展開科目

- 京都文化特論演習Ⅳ
- 京都文化特論演習Ⅲ
- 京都文化特論演習Ⅱ
- 京都文化特論演習Ⅰ

演習科目

基盤科目

- 京都文化学研究基礎論A
- 京都文化学研究基礎論B